

ソルベイが中国の常熟に新設したフルオロエラストマープラントの 操業を開始

ブリュッセル、2015年7月28日 – ソルベイは、中国の常熟に新設したプラントで、フルオロエラストマー(FKM)の生産を開始しました。アジアでは、自動車産業などのハイエンド市場が急成長しており、特殊ポリマーの需要が高まっています。新プラントは、こうした需要増に応える生産拠点拡大戦略の一環です。

ソルベイスペシャルティポリマーズのフルオロエラストマー設備として世界で3番目となる新プラントは、既に同地にあるソルベイの特殊ポリマー事業*やインフラを利用できるだけでなく、近郊にある Shanghai 3F New Material Co., Ltd.との合併事業を通じて、安定した原材料供給を受けられるというメリットもあります。

テクノフロン® FKMを江蘇省常熟の新プラントから供給いたします。同製品は、高活性化学薬品および250°C超の熱への耐性を有し、さまざまな成型方法で容易に加工できるという特長があります。一般的なエンドユーザ製品には、自動車、工業、石油・ガスなどの分野でシール用途に使用される、ガスケット、シャフトシール、ホースが挙げられます。

「最先端のフルオロエラストマー設備の拠点として、ヨーロッパとアメリカにアジアが加わり、ソルベイのグローバルポジションが大幅に高まりました。」と、ソルベイスペシャルティポリマーズの President of Global Business Unitである Augusto Di Donfrancesco 氏は述べています。「ソルベイスペシャルティポリマーズは、業界で最も広範なハイエンドポリマーを提供しています。常熟での事業規模拡大を通じて、お客様とより密接な関係を築き、高い市場競争力を維持できるよう支援することが可能となります。」

また、現地では、ソレフ®を供給するためにポリフッ化ビニリデン(PVDF)の生産設備も建設中で、2016年末までに本格操業を開始する予定です。常熟での事業には、フッ素エラストマーのほか、特殊ポリマー樹脂をベースにしたコンパウンディングも含まれます。

*常熟でのソルベイの事業には、アバスパイア®高機能樹脂 - ポリアリールエーテルケトン(PAEK)、Kalix® - 高機能ポリアミド(HPPA)、Ixef® - ポリアリールアミド(PARA)、アモデル - ポリフタルアミド、レーデル® - ポリフェニルサルホン(PPSU)をベースにしたコンパウンディングや、ポリミスト®およびアルゴフロン® - ポリテトラフルオロエチレン(PTFE)の製造などがあります。

☑ [ツイッターで@SOLVAYGROUPをフォローする](#)

国際的な化学企業グループとして、**ソルベイ**はこれまで以上に信頼と価値を生み出す解決策を導くように努めています。ソルベイの純売上高の90%以上を占めている事業において、当社は世界のトップクラス3社のひとつに数えられています。お客様の業績向上と生活の質の向上を目指し、自動車、航空、電気/電子部品など、エネルギーから環境までの幅広い市場で製品を提供しています。当グループはブリュッセルに本社を持ち、52カ国に約26,000名の従業員を擁しており、2014年の純売上高は102億ユーロでした。ソルベイ SA (**SOLB.BE**)はブリュッセルとパリにおいて **NYSE Euronext** に上場しています (Bloomberg : **SOLB.BB** – Reuters : **SOLB.BR**)。

Lamia Narcisse
Media Relations
+33 1 53 56 59 22

Caroline Jacobs
Media Relations
+32 2 264 1530

Maria Alcon
Investor Relations
+32 2 264 1984

Geoffroy Raskin
Investor Relations
+32 2 264 1540

Bisser Alexandrov
Investor Relations
+32 2 264 2142